

編集局から

新聞を社会の「教科書」に！

学校などで新聞を教材として活用する取り組みをNIE (Newspaper in Education) といいます。先日、NIE全国大会で講演した明治大学の斎藤孝教授は「新聞は実用的な日本語や語彙力を鍛える最も適したツール」と話し、新聞を教材に社会の一員であると

いう自覚を子供たちに持たせる重要性を訴えました。

朝10分間、本を読む取り組みが学校では浸透していますが、斎藤教授は子供たちが注目し切り抜いた新聞記事を発表する授業を推奨します。感想を伝える、課題解決のためのアイデアを出すことは国語

の授業にはない問題を発見する「新しい学力」を身につけることができると言います。

知人は朝食時に1つの記事を取り上げ、言葉の意味や社会のルールの大切さなどを自身の子供に伝えていきます。子供たちに胸を張って読ませられる社会の「教科書」であるよう努力を続けていきます。
(企画担当兼社会部編集委員 石元悠生)